

科目別特徴

1 職務の理解

介護とは何か？を考えながら、図表等を用い介護概念を整理していきます。また働く側からみた「介護の仕事」、利用者の立場からみた介護サービスの状況をサービスごとに説明し、介護職の魅力を説明します。

2 介護における尊厳の保持・自立支援

人間や社会のあるべき姿を見つめながら、人権や尊厳を守ることの重要性を、その背景となる哲学（考え方）や制度（しくみ）、法律とともに事例も取り上げながらわかりやすく説明します。また介護予防事業の各市町村の取り組みも合わせて紹介します。

3 介護の基本

地域包括ケアの重要性や介護職の役割と専門性、多職種の間での連携の方法を事例を基に説明します。また介護職員の安全と健康はかけがえのないものであるため、腰痛予防や介護事故の防止及び感染症対策等に関する取り組みを具体例を挙げながら説明していきます。

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携

2000年4月から施行された介護保険制度について、制度が創設された社会的背景を読み解き、介護保険制度の意義を理解し実際のサービス内容や利用の流れについて学習します。また介護職員が行うことができる医療的ケアの理解、リハビリテーションの役割や専門職についても学習していきます。

5 介護におけるコミュニケーション技術

利用者や家族をはじめ、多職種と関わりながら介護サービスを提供するなかでコミュニケーションは重要な要素です。この科目ではコミュニケーションの技法やコミュニケーションに有効な道具、また利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション方法を学びます。

6 老化の理解

人は加齢とともに、こころとからだは変化します。特に老化においては、さまざまな能力が低下していきます。ここでは一般的な視点から、老化により高齢者のこころとからだはどのように変化し、どのような状態になるかを学習します。

7 認知症の理解

今後増加されると言われている認知症ですが、介護職には認知症に対する正しい理解が必要です。ここでは認知症ケアの理念や概念、症状について説明をします。また事例を通して、認知症の人を介護する家族への支援方法を学びます。

8 障害の理解

介護を必要とする人は高齢者だけではありません。疾患や障害によって生活に支障をきたしている障害者への支援も行います。ここでは、障害の概念、障害者を支える制度や仕組み、法律について学習します。また障害の種類、医学的側面の基礎知識についてもふれていきます。

9 こころとからだのしくみと生活支援技術

専門職として介護を提供するためには、介護サービスに関する専門的知識や技術を習得するだけでなく、介護を理論や制度、法律などの側面から理解することも必要です。ここでは演習を通し、理論と法的根拠に基づく介護を学びます。実際の介護を行う浴槽やトイレ、階段等を利用し、就労後の介護現場ですぐに活かせる介護技術を身に付け、多くの福祉用具を実際に手に取って利用することで、使用方法や注意事項を実体験しながら学びます。また、受講生同士が互いにモデルになることで、利用者体験も合わせて経験します。

10 振り返り

初任者研修の全課程を振り返り、研修を通して学んだこと、習得したことについて再確認を行います。また、利用者一人ひとりと向き合い、寄り添い、各々の尊厳を守りながら自立に向けた支援を行うためには、介護職員として就業するなかで学ぶことも多く、日々継続して学習・研鑽する姿勢が必要です。そして今後の就業に向けた目標等を一緒に考えていきます。